

## 【焼き板】

「自主活動」のみ



国立赤城青少年交流の家は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。  
本プログラムでは重点項目を2つ設定しています。



### 内容

日本を代表する木である「杉」の板に、記念日や思い出を描き、自分だけのオリジナルプレートを作る活動です。

### 活動に必要なもの

- 団体（個人）で用意するもの
  - ①杉板セット380円 **（※1か月前までに「教材申込書」を食堂に提出する。）**
  - ②装飾用画材（アクリル絵の具推奨、ポスターカラー、ポスカ等も可）
  - ③薪1束750円（1かまど1束程度） ④チャッカマン ⑤古タオルやぞうきん
  - ⑥新聞紙 ⑦肌の露出の少ない服装
- 交流の家で貸出可能なもの
  - ①焼き板用たわし ②焼き板用パレット ③焼き板用バケツ ④焼き板用筆

### 活動前の準備

- 入所の受付時に、実施場所や活動時間等の確認を行う。
- 「**センター棟の鍵**」「**ゴミ袋**」を事務室で受け取る。
- 食堂売店に、教材、「**野外備品使用報告書**」を取りに行く。
- 活動場所で、用具の準備を行う。

### 活動の流れ

#### 【活動中】

- ①引率者から、活動上の留意点等の説明をする。**（セーフティ動画参照）**
- ②焼き板を作る。**（※「焼き板の作り方」参照）**

#### 【作成後】

- ④使用した場所、道具を片づける。
- ⑤「**センター棟の鍵**」「**ゴミ袋**」を**事務室に返却**し、活動終了の報告をする。
- ⑥**報告後、職員**の点検を受ける。
- ⑦「**野外備品使用報告書**」を**食堂売店**に提出する。

### 留意点

- **R7年度まで、活動前に職員との打ち合わせを行っていましたが、R8年度より、打ち合わせは原則行いません。HP掲載の活動マニュアルを必ずご確認ください、不明点等ございましたら、交流の家までお問い合わせください。**  
**また、交流の家職員からの説明（セーフティトーク）についても原則行いませんので、HP掲載のセーフティ動画を必ず視聴の上、実施をしてください。**
- 1かまどの目安人数は、5～10人にしてください。
- 安全上のため、6人以上の場合は、半数ずつ焼いてください。
- 火を使うので、やけどや怪我、また周囲の安全も確認して行ってください。
- やけど等に注意するため、肌の露出の少ない服装で活動してください。
- かまど内の薪は燃やし尽くしてください。かまどに水をかけないでください。
- 使用した薪数の確認は、正確に行い、「野外備品使用報告書」に記入してください。
- ながしの底についた「アクリル絵の具」は、必ず取り除いてください。
- 使用した机やかまどは、元の位置に戻してください。
- 安全上職員が中止の判断をすることがあります。